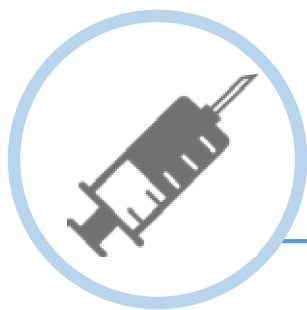




予防接種

1 予防接種ができる医療機関

医療機関	住所	電話番号
ア 奥井医院	平通80番地の5	072-734-2219
イ にしうら内科外科クリニック	平通131番地の2	072-734-3294
ウ 森川医院	今西206番地	072-734-0046
エ 能勢町国民健康保険診療所	倉垣635番地	072-737-0064

特別な事情により町外での接種を希望される方は、**接種前**に保健福祉センターでの手続きが必要な場合がありますので、お問い合わせください(072-731-3201)。

2 こどもの定期予防接種の推奨スケジュール

接種の際は、**母子健康手帳**と**予診票**が必要です。予診票を紛失された方は、再発行しますので**母子健康手帳を持って**保健福祉センターへお越しください。
同じ種類の予防接種はなるべく同じ医療機関で受けましょう。(時期や接種間隔の確認がスムーズです)

	乳児期				幼児期				学童期				推奨する接種年齢・期間			
ワクチン	2 か 月	3 か 月	4 か 月	5 か 月	9 か 月	12 か 月	18 か 月	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳 以上
ロタウイルス 感染症	①②															
	①②③															
小児用 肺炎球菌	①②③					④										
五種混合	①②③					④										
B型肝炎	①②		③													
BCG				①												
麻しん風しん (MR)						①							②			
																年長の学年
水痘						①②										
日本脳炎										① ②	③				④	
二種混合															①	
子宮頸がん (HPV)															① ② ③	

①②③④ 推奨するタイミング
(数字は〇回数を表す)

法律上、接種することが
できる期間(詳細は次頁)

推奨する接種年齢・期間

法律上は7ページに示す年齢・期間であれば接種可能ですが、
病気にかかりやすい時期を考慮し下記の標準的な接種年齢・期間が定められています。

①は、生後2か月～出生14週6日後までに済ませる。
ロタリックスは出生24週0日後までに計2回、ロタテックは32週0日後まで
に計3回接種する。①②(③)はそれぞれ27日以上の間隔をおく。

① 生後2か月～生後7か月未満
①②③はそれぞれ27日以上の間隔をおく。
④ 1歳～1歳3か月未満で、③から60日以上の間隔をおく。

① 生後2か月～生後7か月未満
①②③はそれぞれ20日～56日までの間隔をおく。
④は、③から6月～18月までの間隔をおく。

①②③生後2か月～生後9か月未満
②は、①から27日以上の間隔をおく。
③は、①から139日以上の間隔をおく。

① 生後5か月～生後8か月未満

① 1歳以上2歳未満
② 6歳となる(幼稚園・保育所の年長に相当する)学年(4月1日～翌3月31日)

① 1歳～1歳3か月未満
② ①から6月～12月までの間隔をおく。

①② 3歳 ②は、①から6日～28日までの間隔をおく。
③ 4歳で、②からおおむね1年を経過した時期
④ 9歳

① 11歳

女性かつ13歳(7年生/中学1年生)となる学年(4月1日～翌3月31日)
◇2価ワクチン(サーバリックス): ②は①から1月、③は①から6月の間隔をおく。
◇4価ワクチン(ガーダシル): ②は①から2月、③は①から6月の間隔をおく。
◇9価ワクチン(シルガード):
①を15歳までに受ける場合は計2回。②は①から6月の間隔をおく。
①を15歳になってから受ける場合は計3回。②は①から2月、③は
①から6月の間隔をおく。

3 乳幼児期・学童期の定期予防接種(予防接種法に定められている接種年齢・期間)(A類疾病)・間隔

法律上、定期予防接種として接種できる期間等は下記のとおりです。

注射生ワクチンを打った後に注射生ワクチンを打つときは、27日以上の間隔をおく必要があります。その他のワクチン(経口生ワクチン、不活化ワクチン)は接種間隔に規定がありません。(下記のほか、おたふくかぜワクチン(任意接種)も注射生ワクチンとなります。)

種別	法定対象年齢	回数・間隔	
ロタウイルス感染症 経口生ワクチン	1価 (ロタリックス) 5価 (ロタテック)	生後6週0日～24週0日後まで 生後6週0日～32週0日後まで	2回(27日以上の間隔をおく。) 3回(27日以上の間隔をおく。)
小児用肺炎球菌 不活化ワクチン	生後2か月～5歳未満	初回接種が生後2か月～7か月未満の場合 初回:2歳までに3回(27日以上の間隔をおく。) 追加:1回(初回終了後60日以上かつ1歳以降に1回) ※初回2回目の接種が1歳を超えた場合、初回3回目の接種は行わない。 初回3回目の接種が2歳を超える場合は接種しない。(ともに追加接種は可能) 初回接種が生後7か月に至った日の翌日～1歳未満の場合 初回:1歳までに2回(27日以上の間隔をおく。) 追加:1回(初回終了後60日以上かつ1歳以降に1回) ※初回2回目の接種は、2歳を超えた場合は行わない。(追加接種は可能) 初回接種が1歳に至った日の翌日～2歳未満の場合 2回(60日以上の間隔をおく。) 初回接種が2歳に至った日の翌日～5歳未満の場合 1回	計2回 どちらか 計3回 初回接種開始時期により異なる
五種混合 ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ・ヒブ 不活化ワクチン	第1期初回 第1期追加	生後2か月～7歳6か月未満	3回(20日以上の間隔をおく。) 1回(初回終了後、6月以上間隔をおく。)
B型肝炎 不活化ワクチン	1歳未満	2回(27日以上の間隔をおく。) 1回(1回目の接種から139日以上の間隔をおく。)	計3回
BCG 注射生ワクチン	1歳未満	1回	計1回
麻しん 風しん(MR) 注射生ワクチン	第1期 第2期	1歳～2歳未満 幼稚園・保育所の年長相当の学年	1回 1回
水痘 注射生ワクチン	初回 追加	生後1歳～3歳未満	1回 1回(初回終了後3月以上の間隔をおく。)
日本脳炎 不活化ワクチン	第1期初回 第1期追加 第2期	生後6か月～7歳6か月未満 9歳～13歳未満	2回(6日以上の間隔をおく。) 1回(初回終了後6月以上の間隔をおく。) 1回
二種混合 ジフテリア・破傷風 不活化ワクチン	四種混合の第2期	11歳～13歳未満	1回
子宮頸がん(HPV) 不活化ワクチン	2価 (サーバリックス) 4価 (ガーダシル) 9価 (シルガード)	小学6年生～高校1年生相当の学年の女性 (4月1日～翌3月31日)	3回(2回目の接種は、1回目の接種から1月以上の間隔をおく。 3回目の接種は、1回目の接種から5月以上かつ2回目の接種から2月半以上の間隔をおく。) 3回(2回目の接種は、1回目の接種から1月以上の間隔をおく。 3回目の接種は、2回目の接種から3月以上の間隔をおく。) 9価の1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合: 2回 (5月以上の間隔をおく。) 9価の1回目の接種を15歳になってから受ける場合: 3回 (1月の間隔をおいて2回、2回目の接種から3月の間隔をおいて1回)



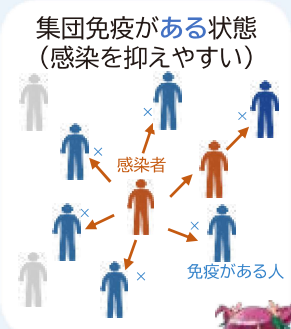
今流行していない病気でも、予防接種は必要？

実は、予防接種には、個人を守るだけでなく、集団を守る意味もあります。

現在定期接種(A類疾病)に指定されている病気は、皆さんが予防接種を受け、免疫を持っているからこそ、**感染が起ころうとも流行しない**(集団免疫がある)状態を保っています。

集団の接種率が下がると、病気が流行しやすい状態になります(右図)。

重篤な疾病を流行させないためには、**1人でも多くの人が**予防接種で免疫を持つことが大切です。



1人でも多く接種して、
能勢町の集団免疫を高めよう！

